

アンディ・ボンディ博士との質疑応答集 # 2

以下の質疑応答は、京都 PECS 研究会で出た疑問をメールでボンディ博士に送って回答していただいたものです。今後も続けていく予定です。

Date: Sun, 11 Feb 2007 5:32 (e-mail で質問)

Date: Tue, 13 Feb 2007 13:43 (e-mail で回答)

Q1 4 ステップのエラー修正についてです。間違っただカードを取ってしまったとき、

1. 正しいカードを示す。
2. プロンプトして正しいカードを取って渡させ、「そうやね、 やね(そのカードやね)」とほめる。
3. スイッチする。
4. もう一度、「何が欲しいの」と訊ねる。

と、やっていますが、4. の時に、2. で取ったカードとは違うカードを取ってしまいます。私は、2. のときに「強化」しているつもりなのが「強化」になっていないのではないかと、また、スイッチが不十分なのではないかと、などと思っておりますが、よく分かりません。どうも、2. で取ったカードが実現してもらえないので、それは間違っていると思ひ、4. の時に違うカードを取っているのではないかと思えるのです。フェーズ が不十分なのではないかという指摘も受けましたが、フェーズ でも同じ困難を抱えています。この子は、「話し言葉」を聞いての理解が良くないので、「ことばによる分化強化」が強化になっていません。2 ステップ目の「プロンプト」の時に、望みの物を少し渡した方が、「強化」になっていいかもしれないと思っておりますが、どうでしょうか。あるいは、「スイッチ」の仕方が悪いのでしょうか。

A1 好子を少しだけ与えようということのロジックはわかりますが 私だったらそこから始めたりはしないと思います。私なら、結果の違いをもっとはっきりさせます。例えば、プリンを食べたいときには、子どもはスプーン(ビデオではなく)を要求しますが、TV をみようとするときには、ビデオテープ(スプーンではなく)を要求するものです。また、私がよくやってみることは、スイッチのときにちょっと《ぶきっちょ》になってみることです。つまり、何かを落として、何かを探しているかのよう

に振り返ります。このとき、子どもに好子アイテムをわたすつもりはないということを強調しないようにします。つまり何かを忘れちゃったかのように振舞うのです。そして淡々と子どもにはもう一度やってもらうのです。しかし、私が見るかぎり、ご質問の状況は、そこで使っている好子が十分強力ではない場合だということがよくあります。

I can see the logic of trying to give a small piece of the reinforcer but I don't think I would start there. I would make the difference in the outcomes more distinct- for example he asks for a spoon when he wants to eat pudding (versus a videotape) but asks for the videotape (versus a spoon) when he is watching TV. Also, I often try to simply become a bit 'clumsy' at the point of the switch- I drop something, I turn around as if looking for something- I do NOT exaggerate that I am not giving the item to the child- I act as if I had forgotten something and simply have the child do it again. But I usually see this when the reinforcer used is NOT very powerful. Let me know if this helps.

Andy